

指定校番号	28004	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立草津小学校	校長	関本 宏	生徒指導主事	志田 あすか
-----	-----------	----	------	--------	--------

**取組事例名 『縦割り班集会』**

**取組のねらい『異学年交流』**

- ・ 縦割り班活動を通して、異学年の交流を深め、楽しく活動できるようにする。
- ・ 異学年のグループで協力して問題を解決することで、リーダーシップとフォロワーシップの育成を目指す。

**取組の具体的内容『ウォークラリー』**

<準備>

- ・ 縦割り班の名簿を教員が作成する。
- ・ 1年生と6年生は、遠足などで活動したペアになるようにする。
- ・ 集会委員会が、高学年から低学年まで楽しめるゲームを考える。

<縦割り班会議>

- ・ 縦割り班集会より少し前に、縦割り班会議を開き、メンバーの確認をする。
- ・ メンバーで自己紹介をしたり、名前を覚えるゲームをしたりする。

<縦割り班集会>

- ・ 各グループが会議をした教室に集まり、テレビを使つての開会式の後、校舎内をグループで回り、各教室でのゲームにチャレンジする。
- ・ ゲームにチャレンジして、条件をクリアするとポイントがもらえる。
- ・ ポイントがたまると、校長先生とじゃんけんができる。



**取組の課題・創意工夫『みんなが楽しめる』**

- ・ ゲームの内容は、集会委員が考え、準備をする。
- ・ 同じゲームの会場を3つ設ける。そうすることで、どのグループもすべてのゲームに取り組むことができる。
- ・ 2時間目と3時間に行うことで、遅刻の児童も参加しやすくなる。
- ・ すべてのゲームを各階に設けることで、車いすの児童も楽しめるようにする。

### 取組の成果（効果）『リーダーシップ』

- ・集会委員会の児童がゲーム会場を受け持つ教員に事前に説明することで、責任をもってルールを考えたり、準備をしたりすることができた。
- ・異学年のグループをまとめることで、高学年のリーダーシップを育てることができた。

### 今後の展開『つなげる』

11月の縦割り班集会のためだけの縦割り班になっている。早い時期に縦割り班を決め、いろいろな行事で縦割り班活動を設けることで年間を通した異学年交流ができるのではないかと考える。

### 他校へのアドバイス『目的』

学年に応じた異学年交流をする目的を教員が共通理解をしていくことでただゲームを楽しく行うことだけに終わらないと思う。縦割り班集会の前後に目的意識を児童自身にもたせる手だてをすることでより効果が上がっていくと思う。